

第11回 埼玉大学 男女共同参画室 講演会

埼玉大学創立 70 周年記念事業



男に介護は難しい？ ジェンダーの視点で考える 「親の老いとの付き合い方」

埼玉大学では、介護実態調査や介護セミナーを行うなど、現在、介護をしながら働いていくのに必要な制度を様々な角度から検討しています。介護を抱える教職員にとって、その仕事への影響は少なくありません。

そこで今年度は、介護する息子たちの調査を長年行ってきた平山亮先生をお呼びし、親の介護への向き合い方についてジェンダーの視点からお伺いしたいと思います。「ケア＝女性のしごと」という性別役割観のもとでは見落としがちで、「男らしさ」とケアの相容れやすさ・共犯性など、私たちのジェンダー認識の盲点にも切り込みながら、女性と男性が協働して介護を担っていくためにどのような心づもりが求められるかをご講演いただきます。

講師 平山 亮 氏

(東京都健康長寿医療センター研究所 研究員)

日時 10月10日(木) 15時30分～17時00分

(受付：15時15分～)

場所 埼玉大学総合研究棟1階 シアター教室

対象 埼玉大学教職員、学生、

その他男女共同参画に興味のある方

講師プロフィール：

平山 亮 (ひらやま・りょう)

東京都健康長寿医療センター研究所、福祉と生活ケア研究チーム(介護・エンドオブライフ研究)研究員。Ph. D in Human Development and Family Studies。専門は社会学、ジェンダー論。現在は親を介護する男性の視点から見た男性性や、LGBT 高齢者へのケア提供をめぐる課題について調査研究を行っている。

主な著書に『迫りくる「息子介護」の時代：28人の現場から』(共著、光文社新書、2014年)、『きょうだいリスク』(共著、朝日新書、2016年)、『介護する息子たち：男性性の死角とケアのジェンダー分析』(勁草書房、2017年)など。

主催 埼玉大学男女共同参画室

